



はし
虹のかけ橋
にじ

暑くてもがんばっていきましょう！

夏休みも終わり、今日から学校生活が再開されました。久しぶりの学校に、校内にも子どもたちの元気な声が響いています。

昨年までの夏休みと違い、コロナ禍での行動制限が無くなりましたので、お出かけをしたりする機会も増えたのではないかと思います。気温の高い日が続く、日中の交通事故や熱中症などの心配もあったのですが、子どもたちに命に関わるような大きな事故が起きなかったことは、ご家庭での声かけや見守りのおかげです。今日の子どもの元気な姿から、夏休みを経て心身ともに成長することができたのではないかと感じております。この場をお借りして、保護者や地域の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



子どもたちはそれぞれの学級で夏休みの思い出を発表したり、自由研究や工作を展示したりしながら、夏休みの成果を振り返っています。夏休み明けの1週間は、事故が起こりやすい時期だと言われています。交通事故には十分に気を付けるとともに、学校生活のリズムを取り戻すことができるようにしていきましょう。



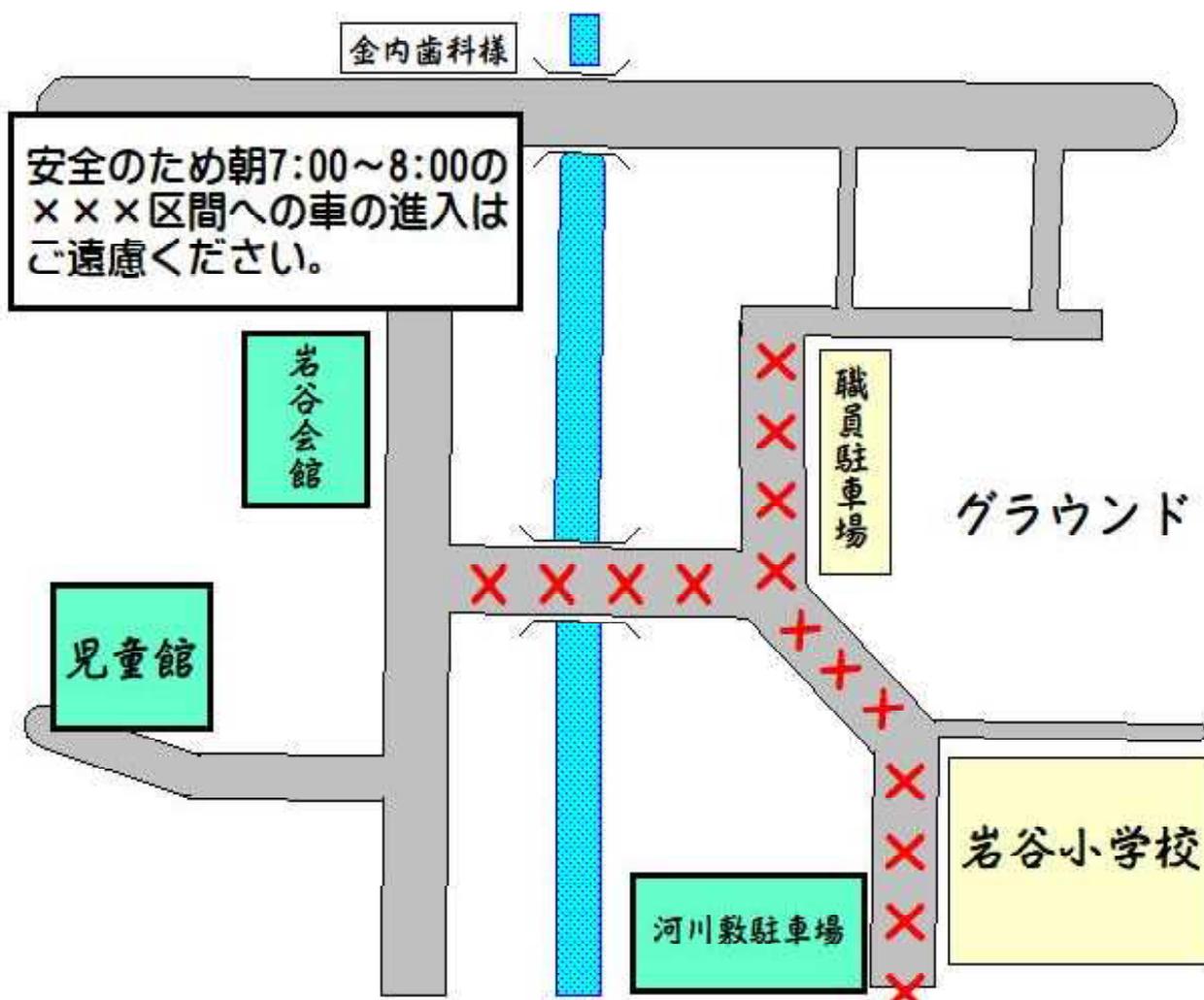
「岩谷地域安全・安心見守り隊」の取り組みが表彰されました

8月3日(木)第19回由利本荘市交通安全市民大会において、代表して加藤徹朗さんが受け取っていただきました。約15年にわたり、登下校時の児童の見守りを行うなど、交通秩序の保持および交通事故防止活動に努めてくださったことが受賞理由です。本校は学区内に国道や線路、道の駅などの施設・設備があるため、他校に比べても危険箇所が多い環境にあります。にもかかわらず、これまでに大きな事件・事故が起きていないのは、ひとえに見守り隊の皆さんによる献身的な活動のおかげです。受賞のお祝いを申し上げますとともに、今後ともよろしくお願ひ申し上げる次第です。

まだまだ暑い日が続きます。休み明けも「水分補給のための水筒」「汗拭き用のタオル」の他、登下校時の日差しから身を守るために、男女問わず「帽子の着用」をお願いします。環境省指定の暑さ指数(右資料参照)に基づき、気温の高い日には体育の授業や外遊びなどを控える日も出てきます。ご了承ください。

気温(参考)	暑さ指数(WBGT)	運動は原則中止	熱中症予防運動指針
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31~35℃	28~31	厳重警戒(激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10~20分おきに休憩をとる水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28~31℃	25~28	警戒(積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24~28℃	21~25	注意(積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全(適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

学校付近の車両通行制限にご協力をお願いします。



夏休みに入る前のことです。朝、子どもたちの登校する時間帯に、学校の校門付近まで入ってきた乗用車が、子どもを降ろしてUターンした際に、ちょうど歩いてきた集団登校の列にぶつかりそうになり、ヒヤッとする場面がありました。学校周りの道路は決して道幅も広くなく、車がすれ違うのがギリギリの状態です。子どもたちには、登校班は1列で歩くように話しているのですが、それでも十分な道幅は確保できていません。

そこで、「朝7:00から8:00までの登校時間帯」には、上記の×区間への車両進入をご遠慮いただきたいと思います。ケガなどにより送迎が必要になった場合には、学校の通行許可証を発行しますので、担任にお申し出ください。

下校時はこの限りではありませんが、路上での停車・発車時の十分な安全確認へのご協力をよろしくお願いいたします。